

# たくしんNEWS

若水(わかみじ)号

2024年(令和6年)1月号 vol.285



拓伸会 [拓南グループ]

拓南本社株式会社  
拓南製鐵株式会社  
拓南商事株式会社  
拓南製作所株式会社  
株式会社西原グリーンセンター

拓伸商事株式会社(大阪)  
拓伸商事株式会社(福岡)  
株式会社薩南物産  
拓鐵事業協同組合

## INDEX

4 拓伸会創業70周年記念祝賀会

8 改善活動成果発表大会  
「最優秀賞」ダイジェスト(下)

## 9 TOPICS

鉄の記念日／友の会新会長に石川氏／長濱室長が新報シンポに登壇／商事の新プラント稼働 etc.

12 新春特集 拓伸会の辰年生まれは64人

14 連載「拓南余話」(1)

拓伸会会報(隔月発行) 拓南本社内「たくしんNEWS」編集委員会

〒900-0025 沖縄県那覇市壺川3の2の4 [拓南ビル3F] TEL.098-831-8228 FAX.098-832-0586

【若水】元旦未明に初めて汲む水。仏壇に供えてから飲む。『沖縄語辞典』(研究社)より

拓伸会創業70周年記念祝賀会  
11月24日、沖縄ハーバービューホテル「彩海の間」で開かれた。  
稲嶺惠一元県知事・玉城デニン  
ー県知事(代理)・照屋義実県副知事・石嶺伝一郎経済団体会議議長などの御来賓をはじめ約550人をお招きし、拓南グループの創業70周年と共に祝った。

乾杯のあいさつに立った稲嶺元県知事は「古波津清昇精神」ともいうべき沖縄の製造業振興に向けた私心のない強い思いが、古波津昇会長をはじめ、役職員の皆さんへ着実に受け継がれている。10年企業になるのはまちがいない。

(4~7頁に特集記事)

稻嶺元県知事が熱く「嘉例」  
創業70周年記念祝賀会 拓伸会



新年あいさつ  
11月24日、沖縄ハーバービューホテル「彩海の間」で開かれた。  
稲嶺惠一元県知事・玉城デニン  
ー県知事(代理)・照屋義実県副知事・石嶺伝一郎経済団体会議議長などの御来賓をはじめ約550人をお招きし、拓南グループの創業70周年と共に祝った。

乾杯のあいさつに立った稲嶺元県知事は「古波津清昇精神」ともいうべき沖縄の製造業振興に向けた私心のない強い思いが、古波津昇会長をはじめ、役職員の皆さんへ着実に受け継がれている。10年企業になるのはまちがいない。

100年、そして拓伸会創業70周年の記念すべき年でした。6月1日(創立記念日)は台風2号が接近する中、拓南製鐵株式会社2番目の新工場跡地である国立劇場おきなわで式典を行ない、大劇場を満席にする

昨年は、拓伸会創業70年の節目であり、併せて創業者生誕100年でもありました。そこで、改めて創業期を振り返り、われわれがこれから向かうべきベクトルを再確認するための1年であつたと思います。

2月1日には創業者の生誕100年を祝い、6月1日にはOBの皆さんを招き、協力会社の皆様と一緒に、拓南製鐵の2番目の創業跡地である国立劇場おきなわで式典を行ない、大劇場を満席にする

ための基礎をつくりました。ひと通り会社や事業の再編は進んでいますが、各種マーケットの把握はまだ弱いものがあり、情報の共有を高め、しっかりと成長するための基礎をつくりました。

また、昨年見つけ直したグループの歴史を互いに理解・共有し、創業100年、さらに次の100年をめでいただきたいと思います。また、昨年見つけ直したグループの歴史を互いに理解・共有し、創業100年、さらに次の100年をめでいただきたいと思います。

本年もゼロ災1000日を目指し、拓伸会ならびに関係する皆様や御家族にとって健やかな1年となりますよう祈念致します。

壮大な式典になりました。11月24日には、同じく70周年の祝賀会を拓伸会各社のOBやお取引先、株主など関係者をお招きを行い、100年を目指すビジョン、さらにその次の100年を意識する1年となりました。

また4月には、パートナーシップ構築宣言を全社で行い、拓伸会各社や協力会社との強い絆を再確認すると同時にステークホルダーの皆様とも協調、互いに成長するための基礎をつくりました。

また、昨年見つけ直したグループの歴史を互いに理解・共有し、創業100年、さらに次の100年をめでいただきたいと思います。また、昨年見つけ直したグループの歴史を互いに理解・共有し、創業100年、さらに次の100年をめでいただきたいと思います。

拓伸会会長  
代表取締役社長  
古波津 昇



未来を目指せる体制づくりを

令和6年 新年あいさつ

1月号を迎えて

新年あいさつ  
パーカーを軸にガバナンス

拓南 製鐵 株式会社  
代表取締役社長

八木 実



謹賀新年、皆様におかれましては、ご家族や周りの人々が「福寿康寧」健康で幸福に心安らかに長寿であり、世の中が穏やかで無事であることを祈願されて、新春をお迎えしたことだと思います。

昨年は、創業者古波津清昇生誕式典を社員やOBの代表、協力企

業の皆さんが一堂に会して挙行しました。日々の活動に感謝し、歴史と共に振り返り、社是「拓鐵興流」の理念を共有できた有意義で記憶に残る式典になりました。

また、円安による工ネルギーコストの高騰や物価高、人手不足

(2頁へ)

は、アフターコロナでの景気浮揚  
《1頁より》

に深刻な問題となりましたが、拓伸会で「情報の共有化」「連携の強化」を図り、社員の皆さんのが当事者意識を持ち、グループの全体最適を図ることで、「安全第一」を最も优先に挙げ、鉄のリサイクルを通じて資源の有効活用と安定的な生産と商品供給が無事にできることに感謝致します。

本年は、ペーパス経営(自社の存在意義から社会に貢献できること)を明確化してそれを軸に行う経営(主軸にガバナンスをしつかりを行い、時代の変化により価値観が多様化するものを見極め、発想の転換と行動をスピード感をもって果敢に挑み、5年後10年後には100年企業に向けて、力をあげて取り組みます。次世代につなげるためにも、拝托会統一基本方針備えに勝る対策なし」

## コスト削減意識の徹底と自動化

# 拓南商事株式会社

川上哲史



行います。  
また「健康経営宣言」等で社員へのサポートやコミュニケーションケーションを図り、社員が社業に誇りを持ち安心でやりがいを実感でき、一丸となって社会に必要とされ続けられる企業として取り組んでいく所存です。お客様・協力企業・拓伸会・の皆様には、本年もより一層のご指導ご協力ををお願い致します。

期の長期化、円安と国際情勢の不安定化など、あまり好ましくない環境にもわれわれは適合しないかなければなりません。

過去3年ほど低迷していた県内の建設需要も、マンションやホテル等を中心とした新築案件が増え始め活発化してきてはいますが、その半面、個人住宅においてはあらゆる建設資材の高騰の影響をもろに受け、いまだに回復の兆しが見えていません。

への技術の伝承を確実に行うこと  
で、会社の持続可能な未来が見え  
てきます。

これからは、自動化・ロボット化等は、避けては通れません。そ  
の過程で人間にしかできない仕事  
とロボットに任せられる仕事を見  
極めて取り組んでいかなければな  
りません。

また令和6年度からは建設・運  
送業界の働き方改革など、難しい  
会社運営が待ち構えています。次

めてまいりたいと思います。  
そして安全衛生活動において  
は、指差し呼称やツールボックス等  
ミーティングが徐々に浸透してい  
ています。昨年度末でゼロ災が  
391日となり、目標の1,000  
日に向けての活動に注力してい  
きます。

また、持続可能な社会づくりに  
貢献する企業となるために、ESG  
G経営を基軸にCO<sub>2</sub>削減にも  
引き続き取り組んでいきます。

しかし、どのような経済環境だろうとわれわれは歩みを止めわけにはいきません。昨年4月よりパートナーシップ構成宣言をし、ステークホルダー全てと成長できるよう努め、少子化に伴う人

世代の扱い手確保のため、作業環境の向上を行い、若い社員がいかに夢をもつて働ける職場を創るかということにも努めなければなりません。環境に配慮しようとする多少コストがかかるのは否めま

本年も、お取引先の皆様や拝顔の  
会各社のますますの発展と健康  
で幸多い年でありますことを祈  
念して、新年のごあいさつとさせ  
ていただきます。

50周年選

株式会社西原グリーンセンター



明けましておめでとうござい  
ます。

皆様におかれましては、輝かし  
い新年をお迎えのこととお慶び  
を申し上げます。

昨年は、コロナ禍後の経済再開  
に伴う景気回復と地政学リスク  
に伴うエネルギー価格の高騰、消  
耗品・輸送費ならびにメンテナン  
ス費用がさらに値上がりする動  
きとなりました。当面はこうした  
状況が続くと予想されます。

拓南商事においては、数年来検  
討してきました廃家電および金  
属・プラス複合物の破碎・選別する  
堅型シェレッダー設備の本格稼  
働による構内における処理効率  
性の向上と金属スクレップ・廢家  
電の持ち込みエリアの改善が進み  
さらなるサービス向上につなげる  
ことができました。

鉄スクラップにおいては全国的  
に発生が少なく、荷動きが低調な  
状況が続いており、品薄感が広が  
っています。また廃自動車につい  
ても新車から中古車、そして、シ  
ユレッダー母材となる廃車に至る  
まで流通数量が激減しており、ス  
クラップ業界では入荷数量減少が  
深刻な問題となっています。

昨年は、パートナーシップ構築  
宣言を行い、ステークホルダーに  
寄り添いました。そして、今年は  
社員一人一人が技量を上げ、コス

ト削減意識の徹底を図ると同時に、  
今ある重機・車輌の機動力ならび  
に加工処理選別設備を駆使しで  
きる限り自動化を研究して、沖縄  
全島を行動し取扱量を増やしていく  
ことが重要だと考えてます。  
　本年もゼロ災を追求し、健康経  
営を通して社員の活力向上を図り  
事業の持続的な成長を目指します。  
　研究課題はいまだにあります。  
今後も、拓伸会グループ各社の皆  
様ならびに事業に関わる皆さまの  
ご支援を仰ぎ、実現していく所存  
です。

　この1年が皆様にとって良い年  
となることを祈念し、新年のご挨  
拶と致します。

新年あけましておめでとうございます。  
拓伸会の皆様におかれましては、ご家族とともに希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー高騰やそれに伴う生活必需品の値上がりが相次ぎ、5月に新型コロナウィルスの5類移行もあり

株式会社西原グリーンセイバーの練習場へ  
また、昨年は、壱川および周辺地域のコミュニティの場として21年間親しまれてきたTUSTAYA壱川店を9月末をもって閉店という大きな決断を行いました。ブックボックス壱川店を含めますと35年間の長きにわたり地域の皆様にご利用していただきましたが、時代の変化に伴つたもので次の事業代を模索します。

アゴルファードー育成を目的とした  
N G C ジュニアカップの開催で、  
集客に努めてまいりました。そ  
の効果は10月以降の来客数に反  
映されてきたものと自負しております。  
独自イベントの継続した開催や N G C ジュニアカ  
ップの定例化以外にも常に新しい企画を  
以つて来場客数増加に努めてまい  
ります。

西原セントラーサービスステー  
ク

若者が夢を持つて働く職場を

拓南製作所株式会社



新年あけましておめでとうございます。長らく続いた新型コロナウイルスのパンデミックに苦しめられてきましたが、昨年の後半より落ち着きを見せ始めてきました。本年

より、業界を取り巻く環境も大きく改善してくるものと思われます。しかしながら、昨今の労働力不足

とは創業100年に向けた節目の年として感慨深いものがありました。

ましては『安全で楽しい情報発信』の年度方針に沿って7月より毎週末にイベントを行い、ジュニ

a u ショップ2店舗では、知名度不足を痛感しており、周知目的の活動や法人契約獲得に向けた



# 100年、200年と続く企業に

## 創業70周年記念祝賀会 拓伸会



古波津昇会長の主催者あいさつ

創業70周年を迎えた拓伸会が11月24日、沖縄ハーバービューホテル「彩海」の間で記念祝賀会を催した。稲嶺恵一元県知事、玉城デニー県知事(代理・照屋義実県副知事)、石嶺伝一郎経済団体議長などの御来賓をはじめ約550人をお招きし、拓伸会の創業70周年を会員企業役員ら(約50人)と共に祝った。(会員企業・協力企業関係者向けの記念式典は6月1日、拓南製鐵浦添工場跡地に建つ国立劇場おきなわで開催)(7月号参照)。

祝賀会は、拓伸会の歩みを紹介するスライドショーで開幕した。

続いて、会員企業役員がステージ前に整列し、小濱正博副会長が開会のあいさつを

「1953年8月20日に創業者・古波津清昇が合資会社拓南商事を設立して以来、皆様のご協力により、拓伸会は成長し、発展してきた。創業者

行つた。

ナーシップに支えられてきたからこそだ。あらためて感謝を申し上げる。

私たちには、皆様との取り引きを最も大切にしており、お客様のニーズに応え、最高の品質とサービスの提供を常に目指している。

小濱正博  
副会長

本日の祝賀会は、私たちの過去の成績を振り返り、将来へのビジョンを共有する機会とした。

拓伸会は今後、100年企業を目指し、変化し続ける世界の中で常に革新と進化を続け、努力していくことをお約束する。私たちの目標は、よりよい将来を築くことだ。より持続可能な社会をつくりあげるために、さらなる努力を惜しまず、新たな挑戦に立ち向かっていく。皆様にはより一層のご支援をお願いしたい」

## 「1円でも多く沖縄に残す」

古波津昇会長が主催者あいさつに立った。

古波津会長は、創業者夫妻が食品加工業から事業を開始し、スクラップ取扱業に携わっていった前史を紹介したうえで、次のように述べた。

「県経済は厳しい時期を迎えているが、いま以上に発展させていくうえでも、私はちは製造業を主眼に、沖縄で造れるものは沖縄で造る。そして、1円でも多く沖縄に残し、循環させていくことが肝要だと思っている。

創業者は生前、「私たちが稼いだお金は沖縄のお金である。だから、沖縄に拠点を置く金融機関にお金をあづける。そのお金を活用して沖縄のために使つてもらいたいからだ」という話をしていた。

来賓あいさつでは、玉城デニー県知事が台湾出張のため、代理の照屋義実県副知事がステージに上がった。

## 「100年企業」条件かなう

会場にお集まりの皆様には、拓伸会が100年を迎えることができるよう、さらにその先の100年までご愛顧いただけるようお願い申し上げたい」

「中国に『10年、偉大なり。20年、恐るべし。30年、歴史になる。50年、神の如し』という故事があるが、『神の如し』を20年も超えて70周年。拓伸会の歩みに敬意を表したい。」

数年前、ある研究者が執筆した『企業の競争力』という本に出会い、その中で紹介されている拓南製鐵の歴史を熟読した。波瀬万丈の社史がつづられていて心服し、創業者に対する尊敬の念を深く



来場者をお迎える拓伸会幹部夫妻



稲嶺元県知事の乾杯=表紙参照=に大きく呼応する会場(約600人)



石嶺伝一郎経済団体会議議長



照屋義実県副知事

身の丈にあつた経営をしていることなどが条件として挙げられていた。最初の、会社の使命が明確化されて引き継がれているという条件は、拓伸会の場合、「拓鐵興琉」という社是が役員にしっかりと浸透している。

次の条件である身の丈にあつた経営とは規模を守って冒險をしないということではなく、守るべきものは守り、時代に合わせて替えるべきものは替える、そのバランスを保ちながら事業展開をするべきであるという意味だ。

拓伸会は、そのかたちでの事業展開をこれまで続けてきた。この条件は、拓伸会が歩いてきた道、これから歩いていこうとする道は、まさに100年企業の条件にかなっている。

100年、200年と続く企業を目指して、古波津会長を中心には頑張っていただきたい。県経済界のリーディングカンパニーとしても期待している」

ステージ上に、泡盛古酒の酒樽「紺碧」「南風」が準備され、法被姿の面々による鏡開きが華やかに行われた。

柄杓を手にしたのは、稲嶺惠二元県知事、照屋義実県副知事、石嶺伝一郎議長、古波津昇会長、小濱正博副会長、

川上社長  
(拓南商事)

司会の津波信一氏(右)、宝眞榮日也美氏

## 築き始めている〈新しい拓伸会〉

創業者は、沖縄の製造業をどう興すか私心なく日夜考えておられた。その〈古波津清昇精神〉ともいいうべき強い思いが、古波津昇会長をはじ

め、役職員の皆さんへ着実に受け継がれている。

古波津会長は、持ち前の視野の広さを發揮して、新しい拓伸会をすでに築き始めている。100年企業になるのはまちがいない。古波津会長のもと、拓伸会各社が今後ますます発展していくことを祈念する」

そして、稲嶺元県知事による乾杯の音頭で、会場は嘉例の合唱が響き渡り、60人の拍手が湧いた。

その後、歓談の時間をたっぷり設けた。その間、会場中央に設置した社史紹介コーナーを見学してもらったり、会員企業の活動内容を紹介するビデオ映像を鑑賞してもらう工夫なども凝らした。拓南商事の川上哲史代表取締役社長が中締めのあいさつをした。



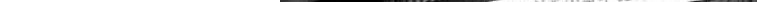
会員企業役員がステージ前に整列



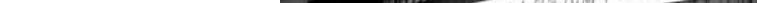
華やかに鏡開き



華やかに鏡開き



華やかに鏡開き



華やかに鏡開き





# 創業70周年 記念祝賀会スナップ集

「おめでとうございます」  
「ありがとうございます」  
これからもよろしくお願ひします



## 沿伸会、70周年祝賀会開く 鉄鋼業界など550人參集



「産業新聞」  
11月28日付



拓伸会  
古波津会長「県内経済に寄与」  
鉄鋼業界などから550人参集  
70周年祝賀会開く



### 拓伸会 創業70周年記念祝賀会に全国から550名が参加

(沖縄) 拓南グループ社1組合で組織する拓伸会(古波津会長)は11月24日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで創業70周年記念祝賀会を開催。東京政財界や全国の鉄鋼・リサイクル業界関係者など約550名が参加した。

開会の挨拶で小濱正博副会長が「私ども拓伸会は創業者の古波津清昇氏が掲げた鉄鋼業を開拓して琉球の経済発展に貢献するといふ『拓鐵興業』たくてつこうりゅう」の社是のもと、沖縄県の製造業の一員として、その役割を果たしてきただと自負しており、それは皆様のご協力があってこそ」と感謝の言葉を述べた。

続いて古波津会長が創業からの経緯、そして多数の来賓者に御礼を述べた後「厳しい時期を越えていたが、今以上に沖縄経済を発展させていくために、拓伸会として製造業を中心とした企業へと成長し、苦難の時代もあったが、確実に業績を伸ばしてきた。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げ、今後も全社員一丸となって『拓鐵興業』の精神のもと、努力精進していきたい」と締めくくり、祝況のうちに閉会となった。



「日刊市況通信」11月28日付



「鉄鋼新聞」  
12月1日付



### 県内製造業けん引決意 拓伸会、創業70周年祝う

拓伸会(拓南グループ、県外に3社のグループ8社古波津会長)は11月24日、事業を拡大してきた、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで創業70周年記念祝賀会を開催。関係者は、「県内製造業を今以上に発展させたい」との決意を新たにした。関係者は、「沖縄で作れるものは沖縄で作り、1円でも多く県内で循環させていく」と強調した。県外出荷も積極的に進めていること。県内で唯一、県路拡大による事業の発展した。県内唯一、県外に5社、

「琉球新報」12月5日付



**★最優秀賞 現場改善チームの部 製造部圧延C班**  
**「精整4ゾーン周りの問題点の撲滅」**

第17回 拓南製鐵改善活動発表大会  
 (令和5年2月16日開催・小紙3月号参照)  
 『最優秀賞』ダイジェスト(下)

## 背景

2021年5月に精整設備(製品切断→端面削除→製品結束を行う設備)の更新工事を行いました。大きく設備更新し、実際に使用していく中で多くのトラブルが発生しました。そこでトラブルによる生産停止を防ぎ生産性向上を目的とし、TPM活動として取り組みました。以下に、各々問題別に対策・効果の確認を述べます。

## 問題①

### ステージと搬送ローラーテーブル間の開口部へ足を落とす危険性



問題点: こちらは疵材・短尺材等の不良品を抜取・補充作業を行う設備です。ステージと搬送テーブル間への出入りが多い、危険性をずっと危惧しております。

\*「たくしんNEWS」欄に載る名前・人物の肩書きなどは「記者を史料として活用するため、原則として当時のものとします。」

## 今回から「友の会」も参加

### 「鉄の記念日」祭事式 拓伸会

「鉄の記念日」祭事式が12月1日、拓南製鐵本社中部事業所で行われた。会員企業、協力企業から約110人が参加し、鉄業の発展、拓伸会

の繁栄、全社員の健康と安全ならびに家内安全と共に祈願した。今回から「拓南友の会」の役員(OB)も参加した。

祭事式は、古波津昇会長が伏見稻荷神社で拝礼し、続い

て、拓伸会幹部ならびに各社代表が玉串を奉奠した。創業者である古波津清昇・桂子夫妻の御靈もまつる産業之宮にもそれぞれ拝礼した。

その後、古波津会長があいさつに立った。



古波津会長による焚き上げ・玉串奉奠

## 石川逢重氏を新会長に選出

後間氏へ感謝状贈呈

11月

令和4年度(25期)の拓南友の会総会が11月24日、沖縄ハーバービューホテル金鶴

を選出した。退任した後間儀雄氏に、平成28年度から会長を務めてきた功績をたたえ、感謝状を贈呈した。

感謝状を受けて後間氏は、「友の会が25期、四半世紀も続けられたのは、壱川、浦添、中城の各工場で頑張つてこられたOBやOGの皆様と事務方のご支援のお陰だ。拓南グループ各社は今後も発展を続け、友の会も、それに

の間に開かれた。



後間氏へ感謝状贈呈

寄り添つて発展していくことを願つていて」と述べた。

また、新会長に就任した石川氏は、「野球と同じように、人生も後半戦が面白い。これから楽しい後半戦を、戦友として長年闘ってきた仲間たちと一緒に頑張つていくことを抱負を述べた。

後間氏へ感謝状贈呈 拓南友の会

古波津会長は「鉄の記念日」の起源が安心安全への祈りであること、産業事故や交通事故などが増加傾向にあること、不安全な行動を決して行わないこと、指差し呼称などを守つて行動やルールの大切さなどを強調し、「会員企業各社で安心・

安全の大切さをこの式典で確認できれば、新たな1年の事業が安定していくものと思つて。各社の幹部は、式典の意図を社員にもれなく伝えてほしい」と呼び掛けた。

「焚き上げ」(ふいご祭り)では、一同が見守るなか、拓伸会関係者の人形(ひとがた)に古波津会長が火入れをし、安全と健康を祈願した。司会進行は、拓南本社の上原康志執行役員総合企画部長が務めた。

シンポジウムは、那覇市医師会の玉井修副会長による専門家講話、協会けんぽ報告会が実現に向けて行われた。

発言者として登壇した長濱室長は、拓伸会が古波津昇会長のもと「拓鐵興琉」の理

念実現に向けて県の発展のために尽力している企業グループであることを紹介。全社全社員のために「一人ひとりの心と体の健康を高めて、はたらきやすい環境を推進していく」方針のもと、健康

経営を積極的に取り組んでいる各種事業を説明した。聴講者や主催者から「具体的な発表でとても分かりやすかった」「すばらしいシンポで、健康経営の機運醸成の

始める。それが大事なことだと思った」拓伸会が、健康経営でもリーディングカンパニーとして沖縄県を牽引していくことを期待している」という感想が聞かれた。

シンポジウム後、長濱室長は次のようにコメントした。

琉球新報社は11月9日、琉球新報ホールで「第6回健康経営シンポジウム」(共催・協会けんぼ沖縄支部を開催した。企業の実践例を紹介して「健康経営」の普及を図るのが目的。今回は「行動変容を起こし結果につなげる取り組み」をテーマに、拓南本社執行役員の長濱直次安全統括室長を含む県内外3社の担当者が登壇した。その発言内容が11月23日付同紙特集「新報主催の健康経営シンポジウム」で大きく紹介された。



## 長濱室長(本社)が登壇

### 新報主催の健康経営シンポジウム

11月

琉球新報社は11月9日、琉球新報ホールで「第6回健康経営シンポジウム」(共催・協会けんぼ沖縄支部を開催した。企業の実践例を紹介して「健康経営」の普及を図る

が目的。今回は「行動変容を起こし結果につなげる取り組み」をテーマに、拓南本社執行役員の長濱直次安全統括室長を含む県内外3社の担当者が登壇した。その発言内容が11月23日付同紙特集「新報主催の健康経営シンポジウム」で大きく紹介された。

琉球新報社は11月9日、琉球新報ホールで「第6回健康経営シンポジウム」(共催・協会けんぼ沖縄支部を開催

した。企業の実践例を紹介して「健康経営」の普及を図る

が目的。今回は「行動変容を起こし結果につなげる取り

組み」をテーマに、拓南本社執行役員の長濱直次安全統括室長を含む県内外3社の担当者が登壇した。その発言内

容が11月23日付同紙特集「新報主催の健康経営シンポジウム」で大きく紹介された。

琉球新報社は11月9日、琉球新報ホールで「第6回健康経営シンポジウム」(共催・協会けんぼ沖縄支部を開催

した。企業の実践例を紹介して「健康経営」の普及を図る

が目的。今回は「行動変容を起こし結果につなげる取り

組み」をテーマに、拓南本社執行役員の長濱直次安全統括室長を含む県内外3社の担当者が登壇した。その発言内

容が11月23日付同紙特集「新報主催の健康

# 新シユレッダーセット稼働 拓南商事

10月

11月号で速報した通り、拓南商事の堅型シユレッダーブラント竣工式が10月に行われた。そこで、新ブラント建設担当者の名波和幸企画開発室室長に寄稿してもらつた。

## チーム結成6年で無事竣工

拓南商事 名波和幸

10月23日に拓南商事の新工場である「堅型シユレッダーブラント」の竣工式を執り行いました。



竣工式

県内外を含め80人以上の方々にご参加いただき、これから本格操業を控えるプロントの安全操業とこれからの方々の発展を祈願した祭事と小宴、ブラント初となる工場見学を実施しました。

「堅型シユレッダーブラント」の竣工式を執り行いました。

県内外を含め80人以上の方々にご参加いただき、これから本格操業を控えるプロントの安全操業とこれからの方々の発展を祈願した祭事と小宴、ブラント初となる工場見学を実施しました。

トは、2018年より社内プロジェクトチームを結成し、導人に向けた準備を進めました。

チームでは、同業者の設備視察、プラント設計、建設場所の確認、予算や工程管理等の調整をし対応を進めました。

導入までには、関連法令への遵守を含めた行政対応をはじめ、新型コロナウイルス感染症の余波による部品調達が困難な状況からの工期遅れや、導人に掛かる費用の増加など多くの危機に直面

しましたが、役員や従業員、グループ各社の協力はもちろん、家電メーカー、行政、設備メーカーなどさまざまなものたちが親身に相談に乗ってくださいり、いろいろなアイデアや協力を得つつ、チーム結成より約6年を経て無事竣工式を迎えることができました。

関係者の皆様方へは、これまでの感謝を伝えるとともに、これから的发展を目指し邁進して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻をお願い致します。

(企画開発室室長)

## 『鉄鋼新聞』『産業新聞』が詳報

ところで、堅型シユレッダーブラント竣工式については、地元2紙11月号参照】

に続き、業界紙の『鉄鋼新聞』に、「産業新聞」も「廃家電の処理能力向上」「廃家電受け入れ強化」などの見出しで大きく取り上げた。

両紙とも、あいさつに立つた古波津昇会長の言葉「県内でできる限り資源を循環させ、付加価値を残し、沖縄の強化」などとの見出しで大きく取り上げた。

拓南商事

### 堅型シユレッダーブラント稼働 沖縄の資源循環サイクル向上

「鉄鋼新聞」  
10月27日付



## 破碎プラント竣工式開く 拓南商事、工場見学会も

### 廃家電の処理能力向上

吉澤洋輔会長

## 過去最高の来場者数 沖縄の産業まつり 古波津会長が報告

11月



### 「けんこう新聞」制作しました

山城幸子 儀間千菜津



拓南製鐵製造部は、健康優良法人の認定取得と上位500社だけが認定されるプライト500取得を目指しております。そこで、私たち2人は「けんこう新聞」を制作しました。

4月からこれまでに7回、発行しました。私たちのイチオシは、第6回の「肺がん・慢性閉塞性肺疾患」です。COPDや喫煙時に出る副流煙について分かりやすくまとめられたと思っています。

新聞づくりで苦労したことは、いかに多くの人たちに読んでもらえるか、分かりやすく記事をまとめられるよう考えている時です。

逆にうれしかったことは、第5回の「睡眠の重要性について」でアンケートをとった際、「興味を持ち、改善してみよう」と考えてくださった方が多くいらっしゃったことです。

\*拓南製鐵の「けんこう新聞」は今後、同社の健康増進委員会を中心に、産業医の協力も得て、発展的に編集発行されることがあります。



沖縄の産業まつり実行委員会の古波津昇会長(沖縄県工業連合会会長)は11月30日、沖縄産業支援センターで「第47回沖縄の産業まつり」の実績を報告した。それによると、「県産品みんなで創る島の価値」をテーマに実施した今回の来場者は過去最高を記録(前年比

29%増の31万500人)だった。売上高は同比33%増の2億4813万円だった。12月3日付沖縄タイムスの記事で古波津会長は「多くの来場で事業者の商品をPRすることができた。来年は幅広い業種の方に出来てもうれるよう工夫したい」とコメントしている。

「沖縄タイムス」12月3日付

## 産業まつり31万人超

売上高33%増2億4813万円

沖縄の産業まつり委員会  
の産業まつりの業者を報  
告日: 那覇市の沖縄産業  
支援センターで 10月21日  
開催された「第47回沖縄の  
産業まつり」の業者を報  
告する31万500人の報  
告。来場者数は前年比  
29%増の31万500人を記  
録した。来場者数は前年比  
30%の目標を達成した。  
(政務部・園尾)



### 与那城で合同安全パトロール

拓南本社・拓南製作所

11月



長瀬室長(左)、西原安全管理者(右)



与那城出張所で

拓南本社の長瀬直次執行役員安全統括室長と拓南製作所の西原誠安全管理者は11月21日、合同で拓南製作所与那城出張所および沖縄石油基地作業所の安全パトロールを実施した。

このパトロールは、「健康と安全で幸せつなぐ年末年始」を標語に掲げた令和5年度年末始無災害運動の一



### 与那城で合同安全パトロール

拓南本社・拓南製作所

11月



沖縄石油基地作業所で

拓南本社の長瀬直次執行役員安全統括室長と拓南製作所の西原誠安全管理者は11月21日、合同で拓南製作所与那城出張所および沖縄石油基地作業所の安全パトロールを実施した。

このパトロールは、「健康

と安全で幸せつなぐ年末年始」を標語に掲げた令和5年度年末始無災害運動の一

度開催した。

八木実代表取締役社長は

沖縄商工会議所は11月20日、創立70周年式典をN.B.Cで開催した。

席上、表彰式が行われ、拓

南製鐵が「創業永年継続企業

(50年以上)」として表彰され

た。

西原町社会福祉協議会は

11月22日、第27回西原町社会

福祉大公会を西原町民交流セ

ンターさわふじ未来ホール

で開催した。

席上、表彰式が行われ、西

原グリーンセンターが表彰

された。

この表彰は、「長年、社会

福祉に深い理解を寄せて貢

献した特別会員計11社を対

象にしたもの。表彰式には、

外間一成専務取締役が出席

した。

### 拓南製鐵を永年継続企業表彰

沖縄商工会議所

11月



古波津会長に個人功労者表彰

永年会員表彰を受けた八木実社長(左)

## 古波津会長を個人功労者表彰 拓南製鐵を永年会員表彰

県J.I.S協会50周年記念事業

ホークス

ホールで行った。

沖縄県J.I.S協会は創立50周年を迎え、記念事業と

個人功労者表彰「永年

会員表彰」の表彰式を11月29日、沖縄産業支援センター大

長(第9代)8年間)を務め

た拓南製鐵の古波津昇代表

は50年の長きにわたり本会

の運営に尽力した拓南製鐵

に表彰状を贈った。

一方、「永年会員表彰」で

は50年の長きにわたり本会

の運営に尽力した拓南製鐵

に表彰状と盾を贈った。

一方、「永年会員表彰」で

は50年の長きにわたり本会

の運営に尽力した拓南製鐵





(後列左から)金城晃広さん、當山壮さん、金城享平さん、奥間り恵さん、東恩納博文さん、宮平良輔さん、上地康成さん、幸喜克幸さん、比嘉良信さん  
(前列左から)小浜守人さん、安里敏さん、仲門和人さん、仲宗根幸広さん、数田真也さん、桃原繪理花さん、與那嶺吏矩さん、大前亨さん、木下進さん



(後列左から)許田正次さん、眞榮田義也さん、大城建二さん、上野竜矢さん、比屋根元太さん、知念陽介さん、赤嶺一也さん、喜納司さん、小嶺壮正さん  
(前列左から)呉屋厚吉さん、宮平等さん、島袋聰さん、小湾正博さん、屋比久恵美さん、勢理客耕司さん、宮國正幸さん、又吉琢也さん



比嘉良信さん

永吉鈴奈さん

お二人に、新年の抱負をコメンツしてもらいました。  
「早く仕事に慣れるように頑張りたいです。プライベートも充実で生きるように頑張ります」(屋比久恵美さん)  
「昨年は体を痛めてしまふことが多かったので、新年は、会社も健康経営宣言をしていることですし、仕事でもプライベートでもケガや病気のない1年にしようと思っています」(赤嶺一也さん)  
2階多目的ホールで撮影しました。



(左から)新城利和さん、大村雄輔さん、吉田安成さん、喜屋武徳仁さん



以上、1月号恒例の「拓伸の年男・年女」特集でした。薩南物産の崎山さんもおつやついていましたが、新年が、拓伸会会員企業ならびに関係者にとつて「昇り竜」のような1年になりますことを祈念します。

事務所前で撮影しました。

### ○ 拓南製作所 19人

拓南製作所の年男年女は次の19人でした。

小湾正博さん、比嘉良信さん、許田正次さん、呉屋厚吉さん、島袋聰さん、勢理客耕司さん、宮國正幸さん、又吉琢也さん、

吉田安成さん、大村雄輔さん、新城利和さんの4人です。

全員がコメントを寄せてくださいました。

「年が明けるとすぐ還暦を迎えるます。今まで、仕事のため

に多くの時間とエネルギーを費やしてきましたが、これからは、自分自身の充実と幸

福を追求するために時間を

使いたいと思います」(喜屋

武徳仁さん)

西原グリーンセンターの辰年生まれは、喜屋武徳仁さん

と、吉田安成さん、大村雄輔さん、新城利和さん、又吉琢也さん

です。

「健康に気をつけて新しい業

務を頑張っていきます」(新

城利和さん)

「ケガなく健康で元気に業務に取り組みたいと思います」(大村雄輔さん)

「健康管理で元気に業務に取り組みたいと思います」(吉田安成さん)

「年までよろしくお願いしま

す」(吉田安成さん)

### ○ 西原グリーンセンター 4人

西原グリーンセンターの辰年生まれは、喜屋武徳仁さん

と、吉田安成さん、大村雄輔さん、新城利和さんの4人で

す。

「年が明けるとすぐ還暦を迎

えます。今まで、仕事のため

に多くの時間とエネルギーを

費やしてきましたが、これ

からは、自分自身の充実と幸

福を追求するために時間を

使いたいと思います」(喜屋

武徳仁さん)

西原グリーンセンターの辰年生まれは、喜屋武徳仁さん

と、吉田安成さん、大村雄輔さん、新城利和さん、又吉琢也さん

です。

「健康に気をつけて新しい業

務を頑張っていきます」(新

城利和さん)

「ケガなく健康で元気に業務に取り組みたいと思います」(大村雄輔さん)

「健康管理で元気に業務に取り組みたいと思います」(吉田安成さん)

です。

「節目となる還暦を迎え、年を取ったのだと実感しています。まだまだ心身ともに働く状態なので、これから定年までよろしくお願いします。

「まだまだ心身ともに働く

状態なので、これから定年までよろしくお願いします。

奥間さん（商事）がモデルに

沖縄トライガールカレンダー

カレンダー／2024沖縄  
トランガールに拓南商事の奥  
間リエさん（ドライバー歴20  
年）がモデルとして登場し、  
は、トラック輸送関連の県  
12月5日付「琉球新報」で紹  
介された。

事・みつや・ジーマック・協和・沖縄西濃運輸)が連携して作成したもの。県内で活躍している女性運転手(トフルック・ガール)を知つてもいい。業界の manus 不足解消につなげるのが目的で、各社の女性運転手計 12 人をモデルにしている。

ACTION!  
健康經營

決勝で悔しい完封負け  
親善野球大会 拓南製

表紙野球部

しまった。今後、打撃力強化を図り、次の大会ではベスト4の壁を越えられるよう皆で



2023年  
1月1日～12月31日

11月1日(土)12月31日

12月5日付「琉球新報」で紹介された。「トラガール」カレンダーニーは、トラック輸送関連の県内6企業拓南商事・沖食商事・みつや・ジーマック・協和・沖縄西濃運輸が連携して作成したもの。県内で活躍している女性運転手(トラック・ガール)を知つてもいい。業界の manus 不足解消につなげるのが目的で、各社の女性運転手計12人をモデルにしている。

拓南製作所野球部は12月2日(西原マリンパークで開催された第47回親善野球大会)主催・沖縄県建築士事務所協会の準決勝戦で、沖縄三菱電ビルシステムチームと対戦し、完封負けを喫した。沖縄電力チームを破つて

ペスト4進出を果たした。相手チームも、作所野球部は、相手チームも、見応えのある投手戦を展開した。しかし、チャンスを得点につなげられず、悔しい敗退となつた。

最終打席では、代打の切れ札・奥平勉総監督(副社長)がバッターボックスに立ち、「左」真参考照、背番号30に期待が高まつたが三球三振。次はゼンパーに当てる」と意気込んでいたが、職念直成監督は「結果としては、職域大会と同じくヘア



語に前後するが、1933年に日本は景気が後退し、沖縄は、それに伴って未曾有の大干ばつに見舞われ(鹿児島から船で竹料水救援、主農産物のサツキ豆をはじめ全ての農作物が大きな被害を受け、土壌の肥力が失なれ、繩經濟はダブルパンチを受けた。

輸入業者は物品税が実質  
されるのを知るや、日本電気  
みならず、ベルギー・やべ  
ーからダンピング品の性  
を大量に輸入した。不況  
さらに悪化し、当社の制  
は倉庫やヤードに山積も  
なり、生産体制にも支障

美施  
本の  
る、  
転し  
繩は全農産物が増産、さら  
にベトナム戦の激化で基地  
関連需要いわゆる「ベトナ  
ム特需」が発生、建築グローバ  
ルとなり、山積していた鉄筋  
みと  
ればならなくなつた。  
ところが、64年後半にな  
ると、経済が急速に上昇に  
転じ、気候にも恵まれた沖  
縄は全農産物が増産、さら  
にベトナム戦の激化で基地  
関連需要いわゆる「ベトナ  
ム特需」が発生、建築グローバ  
ルとなり、山積していた鉄筋  
みと  
ればならなくなつた。

工事を済ました  
一方、その年の3月、輸入鉄筋に20%の物品税が課税されることになった。これまで幾度となく県内生産業育成のため陳情書を提出されていたようだが、ようやく実現したのである。こうした事由を考慮した創業者は、会社の経営も厳しか

**酸素プロパン導入記**  
**車両の台本**

はみるみるうちに底をつい  
た。  
増産体制をとるも需要に  
おいつかず、建材店の車輌  
が早朝から列をなし、製品  
の奪い合いが始まつた。  
需要は膨らむ一方、まだ  
完全に冷えていない鉄筋を  
積むので車両の台木から煙  
が出る始末、このような光  
景は通じで

景を見たのは後にも先にもこの時だけである。経済というものが、こうも短期間で大きく変動することを知り、経営の難しさを感じた。同時に、事前に積増しをお願いしていただけに、業者の方から「なんとかしろ」と叱責を受ける始末、営業の厳しさも思い知らされた。

A horizontal banner at the bottom of the page. On the left, the text "タクナンロード" is written above a circular inset image showing a paved road. To the right of the inset, the text "完成しました" is displayed above "拓南製作所業務部" and "知念直成".

# 球途夕道 すイ得 で景こ 荣

後記  
編集  
謹賀新年